

# 浜松市市民協働を進めるための基本指針

—多様な主体によるまちづくりを実現するために—  
～大学生の皆様へ～

## 「市民協働によるまちづくり」とは？

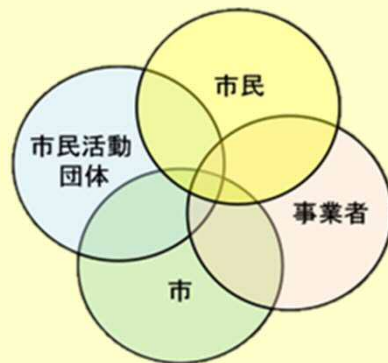
少子高齢社会に突入した日本では人口減少が進み、一方で個人の価値観等が多様化していることから、社会的課題が複雑化しています。その課題を解決するために、市民、NPOや自治会をはじめとした市民活動団体、事業者、市など、さまざまな人や団体が

取り組んでいます。このような多様な主体（私たち）が、お互いを理解し、信頼し、想いを共有し、対等な立場で手を取り合いながら、市民一人ひとりが幸せに暮らせる地域にするために主体的に取り組むことが「市民協働によるまちづくり」です。

### 社会的課題の例



### 「私たち」とは



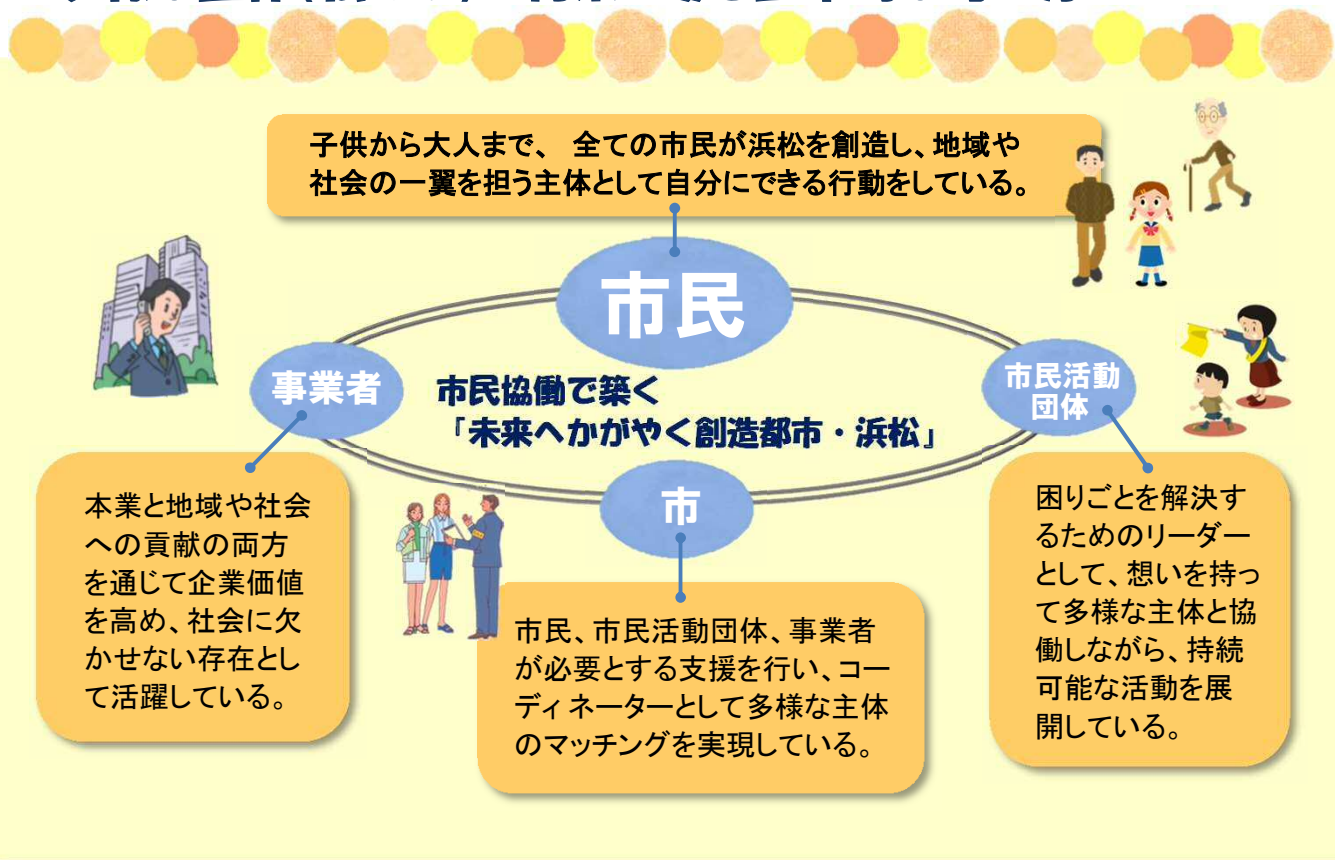
## 「市民協働」によるまちづくりはなぜ必要？

- 高齢化
- 人口減少
- NPO法人数の増加
- 事業者による社会貢献活動

- 社会的課題の種類・量の増加
- 市民活動の担い手の減少
- 市民の興味・関心の高まり
- 民間事業者による公共サービスの提供

それぞれの力だけでは課題解決は困難です。そこで、新たな担い手の発見や、現在の担い手の規模を拡大し、私たちが連携して取り組む必要があります。

## 多様な主体(私たち)の将来の姿と基本的な考え方



## 大学生として出来ることは？

### 繋がる

市民協働でまちづくりの主役になる

- ・学生ボランティア団体の活動に参画し、交流の輪や活動の幅を広げる。
- ・活動を通して得たノウハウを後輩に引き継ぎ、持続可能な団体活動につなげる。

### 深める

まちづくりの担い手として行動する

- ・地域の防災訓練などの行事に積極的に参加し、共助の担い手として行動する。
- ・共感できる学生ボランティア団体などの活動に参加し、社会的課題の解決に貢献する。
- ・「浜松学生ボランティアネットワークフォーラム」に参加し、他の学生団体との交流を深める。

学生FRESHのホームページ



### 広げる

まちづくりへの関心を高める

- ・自治会など、地域に根ざした活動に関心を持つ。
- ・ゼミや就職活動を通して知った社会的課題について調べて、自分にできることを考えてみる。
- ・大学生のボランティア活動の拠点「FRESHひろば」で、学生のボランティア活動について話を聞いてみる。
- ・市や市民活動団体が主催する講座などに参加して社会貢献活動への関わり方を知る。

「社会の一翼を担っている」という想いを持って、今自分が出来ることをしてみよう！